

北広島町へ物流企業が農業参入

【平成 30 年 8 月 23 日掲載】

平成 30 年 7 月 30 日、間口アグリファクトリー株式会社は、北広島町と農業参入に関する協定書の調印式を行いました。

間口アグリファクトリー株式会社は、農作業受託や農産物選果場運営などの実績がある間口グループ(22 企業で構成される物流総合企業)の農業部門を担う関連会社で、北広島町西宗地区での本格的な農業参入のため設立されました。

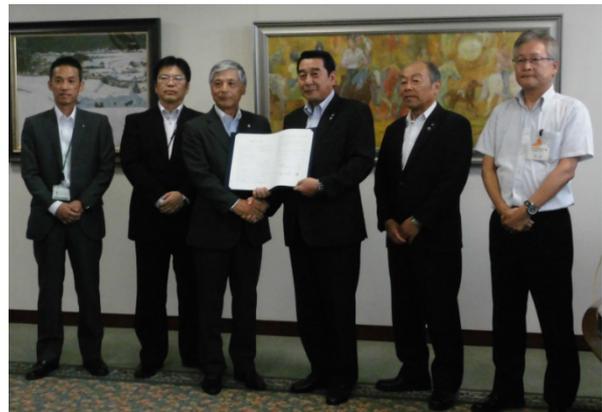
西宗地区では主にキャベツを生産することとしており、農地中間管理機構を活用して、農地集積や水田を畑地化する基盤整備、必要な農業機械を導入し、本格的に営農を始めています。今年度は、3.8ha の農地を集積していますが、秋作はキャベツ栽培の経験を積むことを重視して、約 0.8ha で栽培しています。

北広島町は、農地集積やほ場づくりを積極的に支援しており、両者が協力して地域農業の振興に取り組んでいくことを明文化しました。

当所は同社の農業参入検討段階から積極的に情報提供し、西宗地区との橋渡しに尽力してきました。今後も北広島町や JA 全農ひろしまを始めとした JA グループと連携して、地域の農地を大規模に集積した新たなモデル経営体の育成を支援します。



【栽培中のキャベツ】



【調印式の状況】

情報提供元

西部農業技術指導所